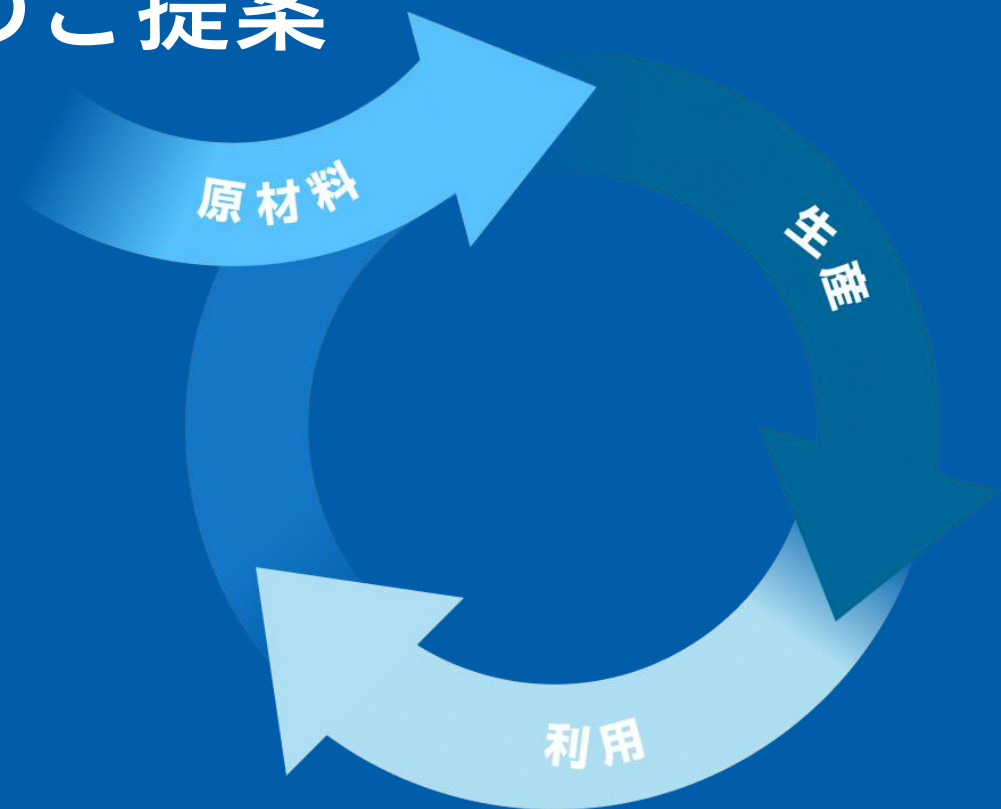


廃プラスチックによる 資源循環スキームのご提案

2024. 12月吉日

株式会社リダクションテクノ



INDEX

Chapter 01	弊社紹介	P.03～04
Chapter 02	解消すべき課題	P.05～06
Chapter 03	提供できる価値	P.07～11
Chapter 04	導入事例	P.12
Chapter 05	具体的な実行プラン	P.13
Chapter 06	99%再生材ごみ袋「FUROSHIKI」 について	P.14～15
Chapter 07	リダクションテクノの強み	P.16～18
Chapter 08	会社情報	P.19

リダクションテクノは資源循環を推進する 産業廃棄物処理業者であり、社会課題解決に取り組んでいます

産業廃棄物処理業

当社は長年にわたり、安全かつ効率的な産業廃棄物の収集・運搬・処理に従事しています。廃棄物処理技術と豊富な経験を活かし、常に環境に配慮したサービスを提供しています。東京都産廃プロフェッショナルの認定を受けています。

資源物の再資源化

当社は資源循環の実現を柱とし、廃棄物の発生抑制・減量化と再利用の促進に注力しています。お客様と協力し、持続可能な未来を構築するためのソリューションを提供し続けています。

持続可能な社会の実現を目指し、ともに歩んでいくパートナーとして関係構築をしていきたいと考えております。

貴社の目指すべきゴール（理想）と現状を整理し、そのギャップを埋める最適な提案をいたします

理想

ごみゼロの目標達成

貴社は製造業として、製造過程における廃棄物の資源化率100%を達成していることかと思えます。次に取り組む点は物流過程における廃棄物の資源化率100%です。これにより貴社の「ごみゼロ」を達成します。

現実

定量的な評価ができていない

物流過程における廃棄物の現状把握は目標達成に向けた第一歩です。

製造過程に関わっていないことから、処理業者に任せっぱなしになっていることは意外な盲点です。

Proposal

リダクションテクノは課題解決に向け、貴社と並走してまいります。

まずは現状について詳しくお聞かせください。お聞かせいただくことで課題が見えてきます。

貴社の課題解決に向け、当社は指摘をするのではなく、解決策を提示し並走してまいります。

ストレッチフィルムの処理において 以下のような課題を解消します

課題1

価格

適正な価格がわからないという不安

買取単価は買取後の活用方法により大きく変化します。当社は買取後の活用方法を明確にし、根拠のある買取単価を提案します。

課題2

利用方法

単純廃棄でなければ手段はなんでもよいという不安

産業廃棄物処分のメリットは、トレーサビリティという安心感です。当社では、買取した資源物の出口を明確にし、トレーサビリティを担保します。

課題3

社会的責任

環境への取り組みを対外的にアピールする期待

当社では環境負荷の軽減を目的とした廃棄物の資源物化に加え、CO2発生抑制という社会課題の解決策を盛り込んで対外的な発信をサポートいたします。

廃棄物を資源化するには、適正な分別・保管など 「廃棄物の該当性」を正しく判断する必要があります

廃棄物の該当性

具体的なポイント

物の性状

LLDPE単一で他の素材は混ざっていない

排出の状況

雨水・ほこり等の品質劣化の影響はない

通常取り扱い形態

再生原料として利用価値がある

取引価値の有無

運搬費を含む売買単価である

占有者の意思

売買契約の締結

リダクションテクノは短期的な資源物の買取ではなく、 中長期的に貴社へ価値提供を行います

リサイクルスキームの構築



安心感を加味した国内循環フローでの ストレッチフィルムの回収

当社のリサイクルフローは、国内循環を前提としております。当社が直接回収し、国内の協力業者で材料化し、この後、国内で製品化を行います。お客様の廃棄物が、資源化・製品化する流れを安心してご確認いただけます。

サステナビリティの実現



99%廃プラスチックを使用したゴミ袋 「FUROSHIKI」の使用

自社の事業場から排出された廃プラスチックを材料とした製品を再度自社で使用することで、クローズドリサイクルを実現します。ゴミ袋を変えるというシンプルなアクションは、高いサステナビリティを実現します。

貴社課題に対して「経済的」「継続的」「社会的」な3つの価値を提供します

01

経済的価値

産廃処理費用を年間50万円削減

資源物買取単価1円/kgをご提示します。これにより現在の参拝処理費用が年間50万円削減される見込みです。情緒的にも「嬉しい」効果を得ます。

02

継続的価値

持続的なリサイクルスキームの実現

買取した廃プラスチックは国内で材料化し、99%再生材使用ごみ袋として製品化します。国際情勢や相場に左右されない持続的なスキームです。

03

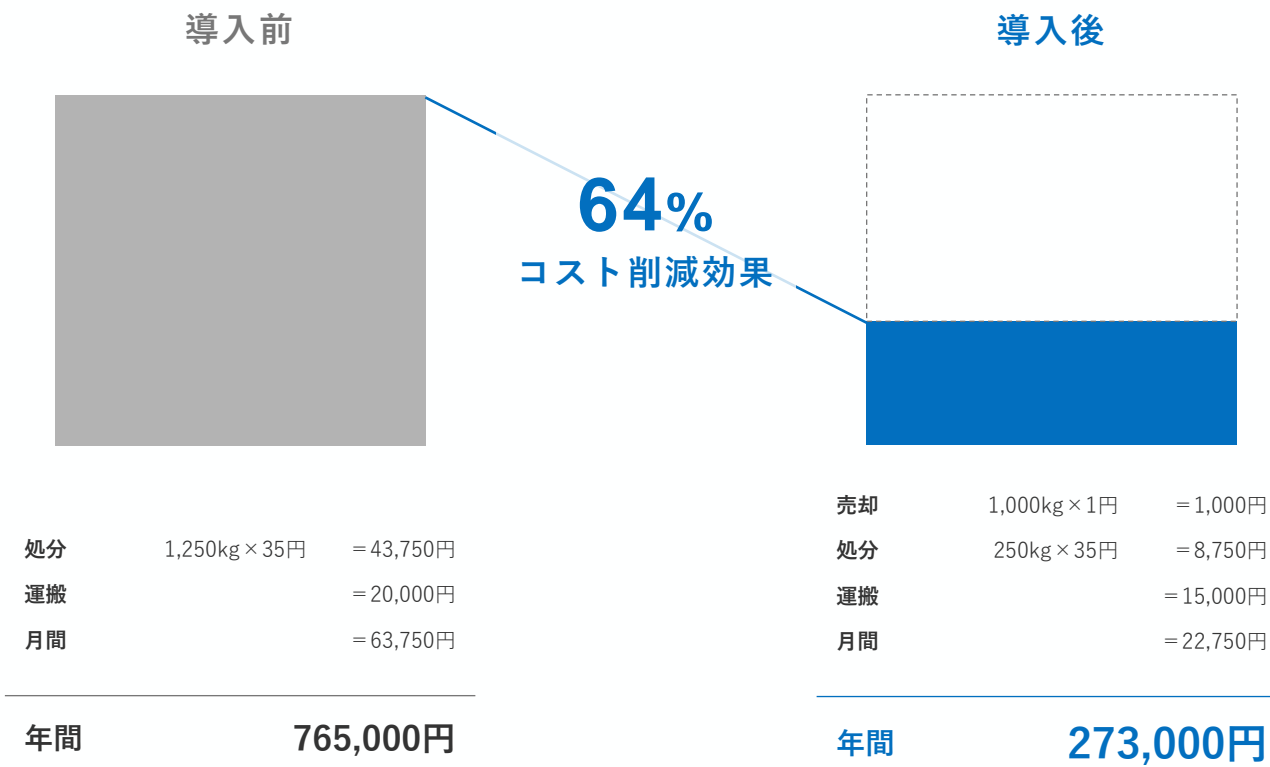
社会的価値

サーキュラーエコノミーの実現

FUROSHIKIを使用することでクローズドリサイクルを構築します。グループでの使用でサーキュラーエコノミーを実現し社会的責任を果たします。

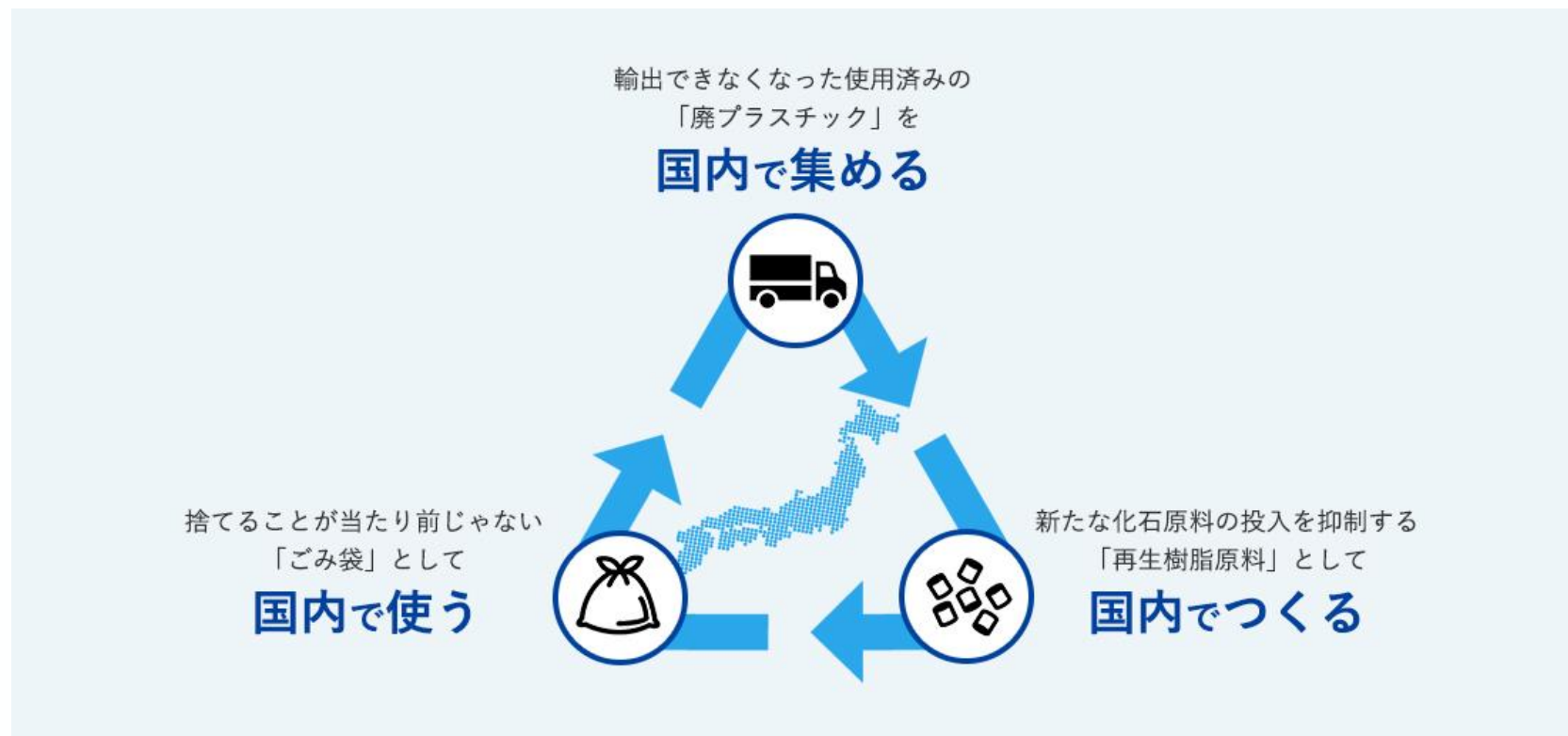
01 経済的価値

排出状況や保管状況に最適な回収条件を買取単価に含んで コスト削減を実現します



02 継続的価値

国内循環をベースとした持続的な回収スキームを提供し、
トレーサビリティが明確なプロダクトとして貴社に戻ります



99%廃プラスチックを使用したゴミ「FUROSHIKI」の導入数

14,973事業所

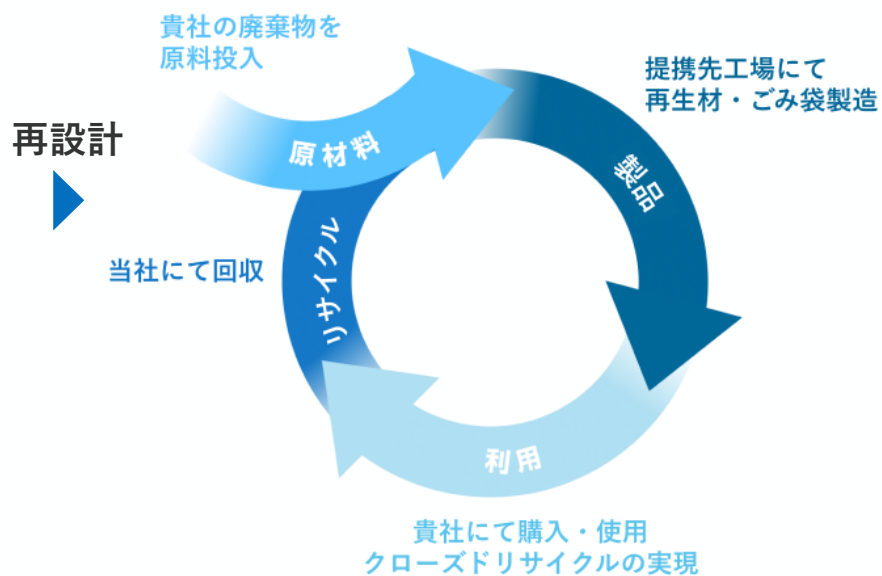
03 社会的価値

再生材使用ごみ袋は、バージンプラスチックの使用量削減となり、CO2発生抑制に寄与します

リニアエコノミー
(線型経済)



サーキュラーエコノミー
(循環経済)





Case.1

ストレッチフィルムを産業廃棄物から有価物に

梱包材として使用されるストレッチフィルムを産業廃棄物として廃棄していたというお客様。有価物として有償で引き取ってもらっていたこともあったそうですが、相場が大きく変わってからは業者にいわれるがまま廃棄物としてコストをかけて処理していたため運用やコストの見直しをご依頼いただきました。

▼
ストレッチフィルム処理費用**73%**削減
年間約**50**万円削減

- ☑ 現地調査とお客様にとって最適解をご提案
- ☑ 廃棄物の資源物化によりリサイクルフローを構築。環境負荷を低減
- ☑ ストレッチフィルムにとどまらず、全ての産業廃棄物処理フローを見直しし、コスト削減を実現

資源回収～目標達成までの具体的な実行プランを フェーズごとに明確化します

フェーズ1

資源回収開始

フェーズ1では、廃プラスチックの資源回収を早速開始し、その経済的効果を感じていただきます。

フェーズ2

回収実績の分析

フェーズ2では、回収した廃プラスチックのデータを集計し、バリエーションプラスチック使用量の削減にどれだけ付与したかを定量的に報告します。

フェーズ3

目標設定と実行

フェーズ3では、集計データを基に、次年度の具体的な目標設定をご提案いたします。

プランを実行することで社会的価値の創造につながり、貴社の社会的責任の担保にもつながります。

About

ごみから作ったごみ袋 FUROSHIKIとは？

**99%再生材のごみ袋。廃プラスチックを国内
循環させる新たな取り組みです**

弊社では廃棄物を適正処理および削減すべく、事業活動から発生する不要物のリサイクルを支援してまいりました。とりわけ廃プラスチックの需要は大きく、海外の輸入規制や相場に影響を受けない国内循環スキームを確立する必要性がありました。そこで、お客様から定期的に排出される使用済みプラスチックを回収して、再生材ごみ袋として還元するFUROSHIKIの提供を開始いたしました。

本商品は、**使用量に応じて正しいCO2排出削減量を算出することができます。**ごみ袋を使うというごく自然な行為が、**新しい企業価値を生む環境貢献活動すなわちサーキュラーエコノミーへ転換します。**環境経済・環境経営・環境生活への参加にご活用ください。

FUROSHIKIの特徴は、業種や場所に関わらず 誰でも何処でも今日からトライできる点です。

外部からの評価

14,973事業所が導入

全国14,973事業所に導入いただき、原料提供は200社を超えました。年間5,000tのCO₂削減を協創するプロジェクトも進行中です

グッドデザイン賞受賞

自国のごみは自国で処理し、循環させることができる社会に向けて、意義深い取り組みだと評価いただきました

エコマーク取得

ライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと評価いただきました。グリーン購入法に適合しています

CO2排出を削減するごみ袋の業務用展開

業種に合わせて 多様なサイズをご用意

業務内容に応じて、使用するごみ袋は多様化します。ごみ量に応じて様々なサイズをご用意し、業務の効率化を図ります

厚みと破れにくさで 高い耐久性

様々な業種で対応できるよう厚みを出し耐久性が高いです。ストレッチフィルム由来のため若干の伸長特性があり破れにくいです

カラー展開で 分別を促進

半透明以外に黄色・青色がございます。廃棄物の種類によって色を替えることで、分別作業の視覚的サポート効果がございます

廃棄物処理フローと再資源化のフローを持ち合わせ、 多様化するお客様のニーズに合う提案をいたします。



処理場との マッチング提案

品目ごとに多種多様な処理場を紹介いたします



エリアや品目により 合積み回収提案

動脈物流に負けじとエリアや品目に応じてご提案します



デジタルツールの 導入提案

デジタル化、効率化を実現する最適なツールをご提案します



廃棄物 減量提案

積算するだけでなく、減量による本質的な提案を実施します



廃プラスチックの 資源物買取提案

買取可能なものは積極的にご提案します



継続的な 資源循環スキーム提案

脱炭素戦略としての継続的な資源循環をご提案します

リダクションテクノの強みと弱みを競合他社と比較しました。
貴社のご要望にマッチしているかご確認ください。

	リダクションテクノ	F社	K社	N社
タイプ	産業廃棄物処理業	リサイクラー	古紙問屋	包材メーカー
強み	一都三県コースあり	回収～材料化一元化	一都三県コースあり	全国対応
弱み	買取単価 低め	最低重量 設定有	段ボールとの合積み	回収は外注
買い取り単価	kg 1円～5円	kg 10円～15円	kg 10円～20円	kg 10円
資源化出口	業務用ごみ袋	輸出～材料化	輸出～材料化	ストレッチフィルム
前提条件	特になし	最低物量100kg/回	古紙回収セット	フィルム購入

Conclusion

リダクションテクノの経営理念

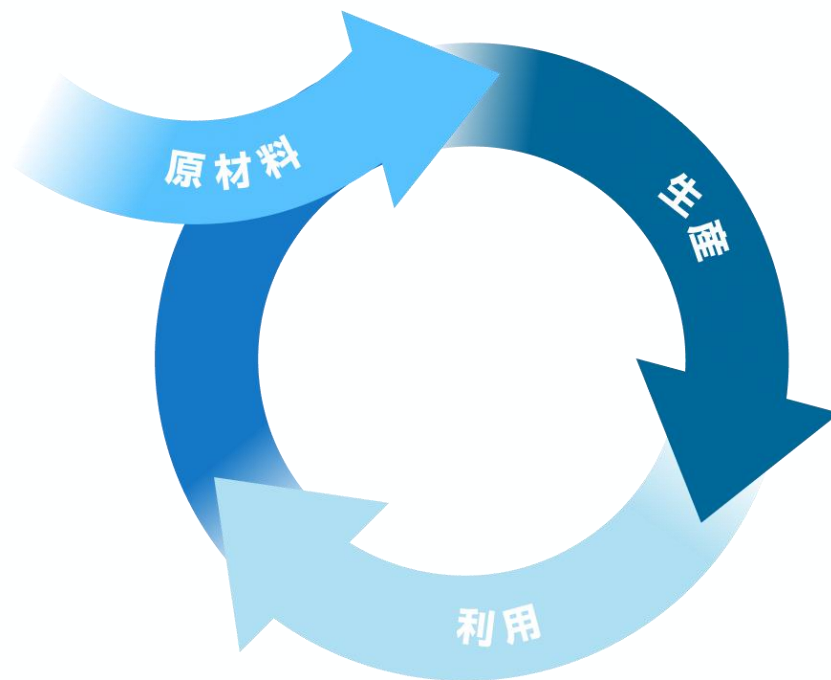
『実現するぞ！

サーキュラーエコノミー』

リダクションテクノはサーキュラーエコノミーの実現に必要なサービスを提供する会社です。

不要となったモノは、法律上、廃棄物としての取り扱いが必要な場合が多くあります。当社は、資源循環の専門家として廃棄物処理に関する各種法令等を遵守することは当然とし、廃棄物を資源物に変えるサポート、資源物の効率的な物流サービスおよび資源物の種類に応じた再資源化技術などを、今までの枠組みにとらわれない新しい形で総合的にご提供いたします。

皆様と一緒に今までに無いワクワクするような資源循環の仕組みを作って行きたいと考えております。



会社名

株式会社リダクションテクノ

所在地

埼玉県草加市稲荷1丁目5-6

事業内容

産業廃棄物処理業（許可関東一円・東京都産廃プロフェッショナル）金属、古紙、古布、ガラス、発泡スチロール、フィルム等プラスチック類の再生資源取扱業務

資本金

600万円

設立

2011年4月21日

お客様の状況に応じた最適な処理方法をご提案いたします。

まずはお気軽にお問合せください。

[LINEでお見積り相談](#)

[お問い合わせ](#)